

## 校名：広島大学附属福山中・高等学校

所在地：〒721-8551 広島県福山市春日町5丁目14-1 電話番号：084-941-8350

記載日：平成28年5月17日 記載者：渡辺健次 記載者役職：校長

### 貴校の校風、おおまかな特色について：

本校は、自主・自由・自立・自律の精神を追及し、日本と国際社会の第一線をリードする人材の育成を学校の教育目標に掲げています。“ベルもチャイムの鳴らない学校”は、生徒の自主性に重きを置き、生徒自身の判断で行動するという教育方針を代表するものとして広く知られています。

全国に先駆けて中・高6ヶ年一貫教育に取り組んだ学校であり、学習内容だけでなく校内運営、生徒指導、クラブ活動などあらゆる教育活動が中高一体のものとして進められています。

本校は研究開発に積極的に取り組んでおり、研究開発校の指定を4期12年間に渡り連続して受けています。現在は、文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール」の指定を受けて、グローバル社会をリードする人材を育成するカリキュラムの開発に取り組んでいます。

### 貴校の卒業生の活躍状況について：

① 追跡調査をしているかどうか、また、その方法

同窓会であるオリーブ会が、5年に一度、同窓会名簿を発行しています。

② どの程度、把握できているか、また、その情報はどこが持っているか（大学、学校園、その他）  
同窓会会員名簿に本人の意思で公開しているものについては把握しています。情報はプライバシーポリシーに基づいて同窓会が持っています。他に、担任が個人的に把握している情報もあります。

③ 状況を具体的にお書きください

2016年3月に最新の同窓会名簿「2015年版」が発行されました。

### 貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

追跡調査は行っていません。全員に当校の研究会の案内を送付し、来校された際には情報交換を行っています。

### 魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

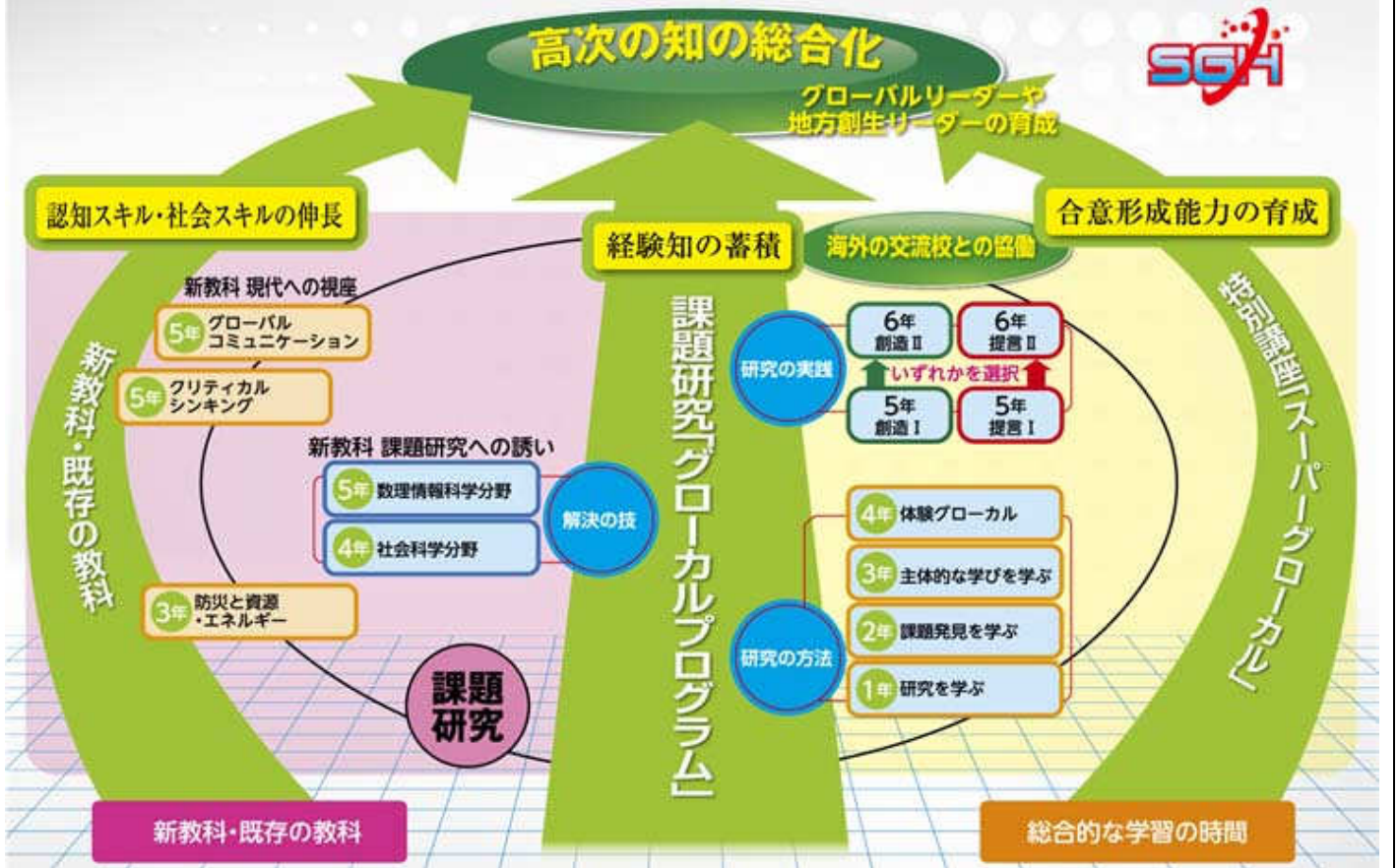
#### ・スーパーグローバルハイスクール

平成27年度から文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」研究開発校の指定を受け、将来のグローバルリーダーを、中等教育段階から計画的に養成する、カリキュラムの開発に着手しています。その中では「自由・自主」の精神を持ち、「基盤となる教養」を獲得し、「クリティカルシンキング」を実践し、「問題解決」の経験知を蓄積し、「他者へのまなざし」を体得した生徒を、育むことを目的としています。平成28年3月9日に成果発表会を開催し、研究開発の成果を地域に広く還元しました。

# スーパーグローバルハイスクール

瀬戸内から世界へ！ 世界から備後へ！

ーグローバルイノベーションと合意形成を柱にー



## ・オリーブの環

卒業生と在校生の絆を深め、本校の「自由と自立」のよりよき伝統を語り継ぎ、受け継いでいくため、古希を迎えられた先輩方に講演をいただき、在校生（4年生）と交流を行う「オリーブの環」を、本校と同窓会オリーブ会の合同企画として平成16年度より行っています。

## ・大学との連携

広島大学国際協力研究科と連携し、国費留学生 20 名程度を本校に招き、彼らの研究の紹介やそのテーマにまつわる課題を生徒と深めていくプログラムを実施しています。併せて、広島大学学部・附属学校共同研究機構を活用し、学部と附属学校教諭の間で「研究プロジェクト」を計画し、毎年多くの研究成果を発信しています。

## ・地域との連携

地元の産業界・経済界で活躍されている多くの卒業生の方を通じ、各界の方を講師としておいでいただき講演会を開催しています。また、卒業生がいらっしゃる企業を訪問し、生徒の研究に関するの実地調査などに協力していただいています。その中には、海外研修で現地工場などを訪問・視察して、海外での企業の展開に必要な知識や技術、文化についての相互認識の重要性を理解するプログラムもあります。

#### ・進路講演会

キャリア教育の一環として、各学年が独自に現役の学生や現場の卒業生を招き、講演会を計画し実施しています。生徒が自分自身の進路のあり方について考えるチャンスをたびたび設けています。

#### ・合同定期演奏会

夏休み中の一日、吹奏楽部と卒業生の合同演奏会を、同窓会の協力を得ながら毎年実施しています。

#### 地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

本校がある福山を中心とする地域のみならず、全国的にもトップレベルの教育を実践する学校として、広く認知されています。地域の中で、多方面にわたって中心的な役割を果たす人材を多く輩出し、地域への「刺激」を発信している存在となっています。

研究開発校の指定を4期12年間に渡り連続して受けました。取り組みを通して、生徒の授業での活動における先進的な内容での取り組みを発信することや、教師の研修・研究についてのパイロット校的存在としての活動を地域に還元しています。現在はスーパーグローバルハイスクールの研究開発校として、社会の変化に対応できる能力や態度の育成を目指した新教科「現代への視座」の開発を行うなど、グローバル人材の育成に取り組んでいます。

#### 附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

教育は長期的な人材の育成に対する「投資」と考えることができます。例え設置者に短期的で直接的な利益をもたらさないとしても、この国を支える人材の育成に積極的に投資するということは、将来の社会の発展に欠かせません。これまで大学は、その高邁な精神性を持って「投資」を行ってきました。附属学校の設置と維持も、この精神に基づいたものと位置づけることができます。

本校の卒業生は、地域社会だけでなく世界の隅々の場所で、国内国外を問わず、分野を問わず、幅広い分野で活躍しています。多くの卒業生が、それぞれの場のリーダーとして、重要な役割を果たしています。これは、生徒各自がもっている資質に加えて、附属学校という組織と、そこで働く教師の精神性と指導技術の高さが基盤となって働きかけたからこそ、豊かな自己実現を図ることができ、人材が育成できたのだと考えています。

すなわち、設置者である大学が、目先の結果や経済的効率性にとらわれることなく、崇高な精神性の下に様々な経済的・人的な「投資」を積極的に行ってこられたことが、長い目で見たときに広く社会に貢献できる人材、地域・国・世界の発展を支えている人材を育成してきたということができます。

今後も大学が、この地域を、国を、世界を支える人材の育成に対する「投資」を続けることを願います。